

朗読劇 泉ピン子の「すぐ死ぬんだから」

出演 泉ピン子 村田雄浩

2023年 11月14日(火) 開演19時
一関文化センター大ホール

毎日が一生懸命、
頑張って、生きていく

「愉快痛快」と日本を元気にした
内館牧子のベストセラー小説完全舞台化!

原作 内館牧子 (講談社文庫)

脚本 笹部博司

作曲 宮川彬良



内館牧子先生の原作に 惚れちゃったんです。

ほんとに面白い本なんです。何度も繰り返し読みました。その度に面白いんです。

この本はどれほどたくさんの人を元気にしたのだろうと思っていました。

ヒロイン忍ハナは、「先は短いのに、先は長い」これからの人生をどう生きていけばいいかを考えます。そしてこう思っています。

「毎日が一生懸命、それしかできない。毒舌、それしかできない。頑固でわがまま、意地悪、それが私。もうすぐを、終わりの見えない、もうすぐを、気合と努力で突っ走る。もうすぐを、毒をまき散らしながら生きてやる」

そんな時、息子の雪男が酒屋での角打ち(立ち飲み)を提案します。その提案に、娘も孫も嫁も大賛成。ハナは「わたしはもう年だから」と断る体をみせますが、内心では飛び上がるほど嬉しいのです。

「得意の酒で、こんなことが出来るとは。店の安い商品で男たちの疲れを癒せたら、社会のためにも役に立つ。酒の肴として話せば、うっとおしくない。そしてみんなで「衰退」を受け入れる準備ができる」

泉ピン子も、自分に出来ることは何だろうと考えました。そして、こう思いました。みなさんに喜んでいただける作品を届けることしか出来ない。これまでの感謝をこめて、お礼行脚のつもりで、全国のみなさまのもとへ、ピン子が行く。たくさん笑って、ほろりと泣いて、ああわかるわかる、と共感していただく舞台を作る。内館牧子先生の原作にほれちゃったんです。私はこの作品からたくさんの勇氣と元気をもらいました。ではこの命にあふれた本音の女、忍ハナを精一杯演じること、私がみなさんに元気を届けよう。私の女優人生の集大成にしよう。初めての朗読劇です。みなさま、どうか私の挑戦を見届けにいらしてください。

泉ピン子



「すぐ死んでしまったら、さっぱり消える読み心地でした。」
(70代・女性)

読んで思わず鏡の前に立ちました。
(60代・女性)

もうすぐ定年ですが、新しい人生への希望と勇氣をいただきました。
(60代・男性)

「一字一句が人生訓。牧子節炸裂の『発かます』は私もやってみたい。」
(50代・女性)

「何十年ぶりに小説を『一気読み』しました。」
(80代・女性)

「没イチ子になって四年。人生まだまだこれからと意欲が出てきました。主人公の毒舌は私の言いたいことと同じです。」
(70代・女性)

「身につまされるが文句なく面白い！」
(70代・男性)

出演 | 泉ピン子
村田雄浩
原作 | 内館牧子
『すぐ死ぬんだから』(講談社文庫)
脚本 | 笹部博司
作曲 | 宮川彬良

※講談社文庫「すぐ死ぬんだから」特設サイトより

令和5年
11月14日(火) 19:00開演
(18:15開場)

一関文化センター大ホール

全席指定 前売 4,000円 (当日4,500円)

※6歳未満の入場はできません。※前売券完売の場合は当日券はありません。

チケット発売日 / 令和5年8月2日(水)

チケット取扱い / 一関文化センター 0191-21-2121

小原書店 0191-75-3151

一関文化センターインターネットチケット

お問合せ / 一関文化センター Tel 0191-21-2121

主催 / NPO法人一関文化会議所 (公社)全国公立文化施設協会

助成 / 文化庁 文化庁文化芸術振興費補助金(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会

関連事業

キッズ向け 体験講座 **朗読**をやってみよう

きむらゆういち作「あらしのよりに」を台本に、プロの俳優さんから表現する楽しさを学びます。

開催日時: 令和5年10/28(土)14:00~17:00

会場: 一関文化センター小ホール

対象: 一関市・平泉町の小中学生

※親子参加可

参加料: 無料

定員: 20名(保護者除く) ※先着順

募集期間: 令和5年8/20(日)~9/24(日)

申込方法: WEB申込フォームから申し込み

どうやって声を出すんだろう?
声の表情ってなんだろう?

バーコードから
アクセス! →



ネット予約
空席確認